令和6（2024）年度 第2回かしわざきこども大学運営協議会 議事録

- * 日 時 令和6（2024）年10月24日（木） 午後6時30分～午後7時25分
- * 会 場 柏崎市役所 4階 4-3・4-4会議室
- * 出席委員 9名 佐藤幸治委員、前澤佳奈子委員、蓮池純夫委員、八木千代子委員、遠山みちる委員、松谷久美子委員、関沢恵委員、土田由紀委員、猪爪拓也委員
- * 欠席委員 1名 片桐秀樹委員
- * 事務局 8名 本間和人教育部長、【学校教育課】矢沢欣也課長、廣田多恵子係長、千原健志副主幹、横田則子主査【保育課】細山郁子課長代理【商業観光課】土田洸希主事、北村杏奈主事

1 開会 司会：廣田多恵子係長

2 挨拶 佐藤会長

残暑が厳しかったが、1週間ほど前から急に涼しくなっている。委員の皆さんも体調に気を付けていただきたい。9月、10月はスポーツの秋、芸術の秋ということで、幼稚園、保育園、小中学校など、いたる所で運動会、体育祭、合唱祭などが開催されている。

第2回かしわざきこども大学運営協議会では、今年度の事業実施状況の報告と来年度の実施予定概要（案）の提案が行われる。皆さんそれぞれの立場で活発な御意見をいただきたい。

3 議事 進行：佐藤会長

(1) 令和6（2024）年度 事業実施状況について 【事務局】

ア 「自然体験コース」 資料1

今年度は、ほぼ当初の予定どおり実施し、これまでに31園中29園が実施を終えている。資料は、田尻保育園、柏崎中央幼稚園、とうぶ保育園・はらまち保育園の実施報告書である。どの体験活動についても、普段の園生活の中だけでは体験できない活動メニューとなっており、楽しく貴重な経験ができたという感想が多く寄せられた。

イ 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」 資料2

10月5日（土）9時～16時に実施し、親子8組17人の参加があった。

アンケートの結果、親子ともに、「とても楽しかった」「楽しかった」という回答が9割だった。参加児童からの感想では、「いろいろな場所に行けて良かった。今日行ったところは全部知らない所だったので、柏崎にもこういう施設があると知ることが出来た。」と回答があった。また、保護者からは「一般に公開されていない施設を見学することができ有意義だった。エネルギーのまちとして進めていくために、次世代の「子ども」だけでなく現役世代の「親」が理解、関心を深めていく必要があると感じた。」と回答があった。

ウ 「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」

11月9日（土）9時～12時まで、市内の小中学校に通う4年生～6年生の30人を対象に実施予定。安田にある新潟岡本硝子株式会社の工場を見学した後、田尻工業団地、田塚工業団地、柏崎駅周辺を巡りながら柏崎のものづくりの歴史を学ぶ内容としている。

参加者を募集中であるため、周りに対象となる小学生の子がいたらぜひ声を掛けてもらいたい。

エ 「国際交流コース～クリスマスをつどい～」

12月21日（土）9時45分～11時45分に市民プラザで小学校3年生～高校生を対象に実施予定。

オ 「キャリア教育コース」 当日配付資料

6月25日に鏡が沖中学校、7月3日に県立柏崎翔洋中等教育学校でそれぞれ実施した。県立柏崎翔洋中等教育学校は2クラスだが、人数の関係により2クラス合同で1クラスとして行った。参加した生徒・教員・保護者サポーターからの感想では大変好評価をいただいている。2校とも生徒が意欲的にゲームに参加していて、とても良い活動だと感じた。11月21日に第二中学校、12月18日に東中学校での実施を予定している。実施にあたっては、中学校、講師と連携を図りながら行う。

－質疑・応答－

【委員】 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」のアンケートで参加児童の9割が楽しかったという回答をしたというが、残りの1割はどういった内容の回答だったか。

【事務局】 回答者は1名だったが、「説明が難しくて楽しくなかった。」という回答があった。

柏崎原子力広報センターのゲームコーナーでは楽しんでもらえた様子だった。

小学校3年生からを参加対象としているが、発電の仕組みを学校でまだ習っていないため、水力発電や消化ガス発電、太陽光発電、原子力発電それぞれの説明を聞いても理解が難しかったかもしれない。

【委員】 小学校3年生～6年生を対象としているが、小学校3年生に説明するのと6年生に説明するのでは、説明に使う言葉も選びながらでないといけないかもしれない。

【委員】 来年度に向けて、説明を担当する方に今回の小学生の感想を伝えれば、よりよいものになると考える。保護者からの感想で、「次世代の「子ども」だけでなく、現役世代の「親」が理解、関心を深めていく必要がある」というのは大事な意見であり、親が理解した上で子どもたちに伝えていくことが必要だと感じる。今後も親子で楽しめる内容になると良いと感じた。

【委員】 午前中に見学した施設等は、自分自身行ったことも他の人から話を聞いたこともないが、関心はある。それをきちんと理解できれば、原子力発電に対する理解も深められると思う。発電する時のタービンを回す動力がどうかという話は子どもにとって難しい話だと感じる。大人向けの事業も実施してもらいたい。

【委員】 「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」は、参加を募っていて定員が30名と記載があるが、今日現在どのくらい集まっているのか。

【事務局】 今日現在、6人の応募がある。もう少し参加者を増やしていきたいと考えている。

【委員】 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」も同様、来年度も継続して実施していくことを考えるともう少し参加者がいても良いと思う。周知の方法はいかがか。

【事務局】 対象学年の全児童分のチラシを作成し、各小学校経由で配付している。広報かしわざき、柏崎市公式ホームページに記事を掲載している。「エネルギーのまち、柏崎探求コース」の募集では、エフエムピッカラの取材を受け、ラジオ番組の中で周知した。色々な手法はとっているが、なかなか応募が募集人数に満たない。各小学校にも協力を依頼している。

【委員】 「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」は、将来的に子どもたちに柏崎に残ってもらう意識をさせる良い機会だと思う。「柏崎ではこんなことも出来るんだ。」「こんなこともやっているんだ。」と知ってもらうためには、ものすごく良い企画だと思う。ぜひ上手く広報をして、たくさん子どもたちに参加してもらいたい。

【委員】 市内の小学校で「エネルギー」や「ものづくり」に関して授業で取り扱っているか。

【事務局】 総合学習で地域に関する学習は各学校で行われている。柏崎の「エネルギー」や「ものづくり」に関してどこまで掘り下げて取り扱っているかという情報は持ち合わせていない。

【委員】 授業の中で取り上げてもらえると「実際に行ってみたいな」と思う子も出てくるかもしれない。そういった授業があると良いと感じる。

(2) 令和7（2025）年度 実施予定事業概要（案）について…資料3 【事務局】

ア 「自然体験コース」

今年度と同様に実施予定。近年の参加人数に基づきプログラム負担金を232,000円に、バスの借り上げ料については今年度の実績に基づき1,050,000円とした。合計1,282,000円。

イ 「キャリア教育コース」

令和6（2024）年度実施と同数の10クラスでそれぞれの費用を算出した。合計548,000円。

ウ 「ドローンプログラミング教室（仮）」

これまで新潟工科大学に事業委託し、参加者を募ってロボット工作教室を開催してきた。ロボット工作のキットの入手自体が難しくなっていることから新潟工科大学と協議し、次年度はドローンプログラミング教室を開催することを検討している。対象は、市内小学校4～6年生を対象とし、実施費用は400,000円を計上した。

エ 「国際交流コース」

水球のまち推進室と連携し、柏崎に来訪する水球の国際チームと中学生との交流事業を計画する。交流会開催のための会場借り上げ料を80,000円計上した。

オ 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」

環境課と連携し事業を実施する予定。柏崎市内で民間企業が開発している再生可能エネルギー関連施設への見学等を検討している。講師謝礼18,000円、バスの借り上げ料200,000円、消耗品費32,000円を計上した。

カ 「歴史・文化財探検コース（仮）」

令和6（2024）年度は、ものづくりのまち柏崎にまつわる歴史を学ぶ事業を11月に実施予定。令和7（2025）年度、歴史・文化財探検コースとして、コースの内容を組み立てていきたい。バスの借り上げ料として、200,000円を計上した。

キ 「こどもの笑顔創造プロジェクト」

令和7（2025）年度も継続し、補助金上限額20万円×11団体で予算額を2,200,000円。

ク 「学校教育活動推進事業」

令和7（2025）年度についても、継続とし2,390,000円を計上。

ケ 「かしわざきこども大学運営協議会」

年3回の会議を開催予定。

令和7（2025）年度かしわざきこども大学事業の予算額は合計7,552,800円とする。ただし、各関係機関等に現在見積依頼をしている段階であるため、その結果により増減することが想定される。

－質疑・応答－

【委員】 ドローンプログラミング教室を開催とあるが、小学生ではドローン操縦の免許は取れないのではないかと。

【事務局】 会場内でドローンを飛ばしてみるという体験的なことになると想定される。

【委員】 ドローンでも大きさが様々だと思うが、どれくらいの大きさのものなのか。

【委員】 実物は確認していないが、新潟工科大学のホームページに掲載された他市町村で実施した際の写真を見ると10センチ四方くらいのもと考えられる。

【委員】 講師は、新潟工科大学が務めるのか。

【事務局】 新潟工科大学の教員、学生が務めることになる。

【委員】 国際交流コースでは、水球で来柏する国際チームとの交流イベントを企画する内容である。既存のものと一緒に新しい取り組みをするのは良い考えだと思う。

【委員】 交流をする海外の水球チームは、大人のチームなのか、ジュニアのチームなのか。

【事務局】 来年度、どのチームがいつ来柏するのかという具体的な情報がないため決められる状況にはない。可能であれば、ジュニアのチームが来るタイミングで中学生と交流会を持てるような企画をしていきたい。ただ、タイミングによっては、大人のチームとの交流になることも想定される。

【委員】 前回の会議で、水球チームが来られる機会を使って企画してはどうかという意見があり、来年度の事業に取り入れてもらえ、嬉しく感じる。「水球のまち柏崎」が子どもたちに浸透することも期待できるのではと感じている。

【委員】 「エネルギーのまち、柏崎探求コース」で民間企業の取組も見学を検討しているというがすでに交渉に入っているのか。

【事務局】 企業への打診、協議はこれから行うという段階である。環境課と今後のスケジュールを詰めていきたいと考えている。

【委員】 柏崎にもいろいろな職人がいる。例えば、原惣右エ衛門工房で職人が作っているところの見学をするのも良いと思う。柏崎は鍛造からスタートしているところがあり、子どもたちに知ってもらえる機会を作るのも良いと感じた。

「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」で新潟岡本硝子株式会社の見学に行くが、どのように決まったのか。

【事務局】 いくつかの候補の中から電話で打診をしたが、土曜日に工場が稼働しているところが限られてしまったこと、また、以前は工場見学を受け入れていたが、コロナ禍以降、外部の人の受入れが難しくなったという企業もあるようで選定は難航した。新潟岡本硝子株式会社は、24時間体制で365日工場が稼働しており、以前から工場見学を受け入れてきた実績もあったので受けていただくことになった。

【委員】 柏崎機械金属団地協同組合等に打診すると色々な情報が得られると思う。新潟岡本硝子株式会社はヘッドライトなど高レベルな技術をガラス製造の業界の中で持っている。柏崎の企業は部品を作っている会社が多いので子どもたちにはイメージが湧きづらいかもしれないが、組合等に打診することで有力な情報を得られると考える。

4 その他

(1) かしわざき子ども育成基金 収支報告 …資料4 【事務局】

東芝エネルギーシステムズ株式会社と東芝プラントシステム株式会社から月1回ずつ自動販売機の売上の一部を寄付いただいている。

6月4日には、フラワーショップ GUANABO から「柏崎市の教育に役立ててほしい」と売り上げの一部を寄附いただいた。

9月9日には、新潟病院附属看護学校の学生から、学園祭のバザーの売上金を寄附いただいた。今後の事業に有効に活用させていただく。

(2) 「キャリア教育コース」いきいきゲームの見学希望調査について 【事務局】

当日配付の「令和6（2024）年度「いきいきゲーム」見学希望調査票」について説明。

5 連絡事項

(1) 今後のスケジュールについて

ア 第3回運営協議会…3月中旬を予定（令和6（2024）年度実施報告）

イ 委員の改選について

かしわざき子ども大学運営協議会の委員の任期は2年間で、令和6（2024）年度末に任期が終了となる。来年3月にそれぞれの団体に委員の推薦について依頼予定。

広報かしわざき2月号で委員の公募を予定しているため、応募を検討いただきたい。

6 閉会 本間教育部長

令和6（2024）年度事業の実施状況について、令和7（2025）年度事業の概要（案）について皆様から貴重な御意見をいただいた。「子どもにとって説明が難しかった。」という御意見、「まず親が理解を深める必要があるのではないか。」という御意見をこれからの事業展開に生かしていきたい。「ものづくりのまち柏崎・歴史探求コース」では定員30名に近づけるように事務局としても努力していきたい。柏崎はものづくりのまちであるため、一人でも多くの小学生に知ってもらいたいと考えている。かしわざき子ども大学がよりよいものになるよう事務局として努めるので、皆様には引き続き御協力いただきたい。